

地域の人と人とをむすびたい



おむすびの家

01 きっかけ

子供達が放課後自由にすごせる場所になりたい
子供を中心に地域の大人も集まるような場所になりたい

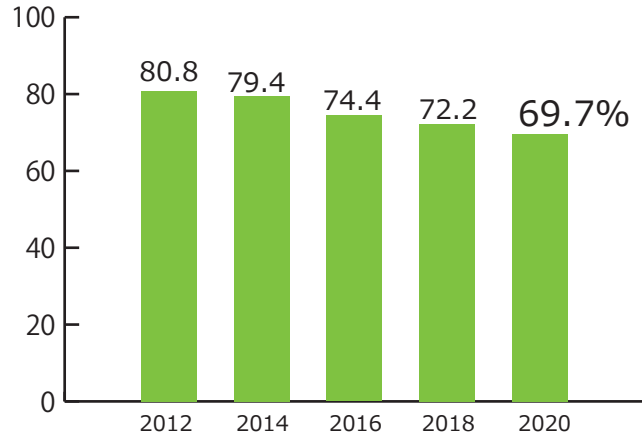
幼い子供から大人まで手軽にたべることのできるおむすび
じぶんでも作れる料理だから親しみもある

昔から知ってる見た目と味
変わらない安心

お腹減ったーの時も
食べたいもの思いつかないなあーの時も
そんな時の味方になりたい

それでも夢はでっかく、
地域のおなかと心を満たしたい おむすびの家

02 市場調査



引用先:「名古屋市」<https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000140801.html> (2023/09/20)

名古屋市 町内会推計加入率

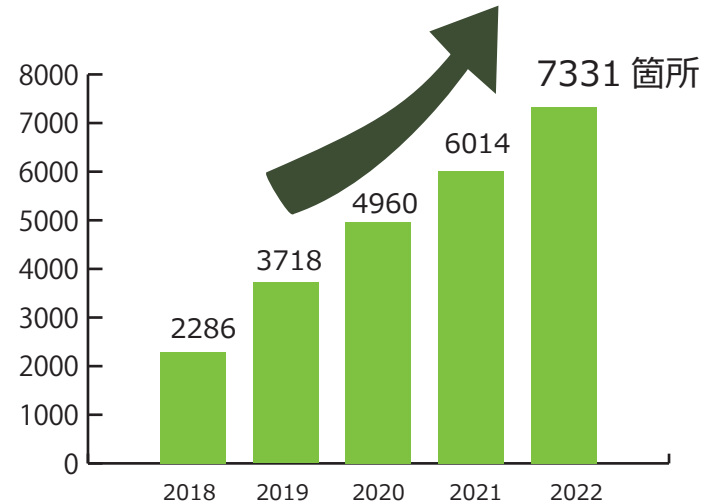
地域コミュニティとは町内会、老人会や婦人会、子ども会などがあります。代表格の町内会の活動内容として挙げられるものとして、回覧板などを使った情報伝達、防犯灯の設置、ゴミステーションの設置管理などが挙げられます。どれも大切な活動ですが加入率の減少がみられます。大きな理由として役員・運営の担い手不足、役員の高齢化、近所付き合いの希薄化、加入率の低下があります。地域コミュニティ希薄化の例として高齢者の孤独死の増加、地域での見守り子育ての機能の低下、地域防災機能の低下などの問題が考えられます

町内会の数は減少傾向
主な理由役員・運営の担い手不足

こども食堂の推移

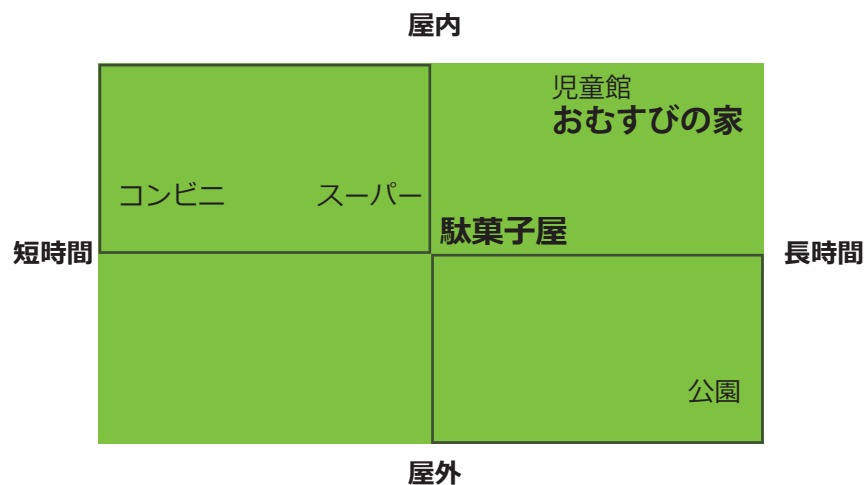
「子ども食堂」が増えた背景について、政府の交付金の拡充や自治体からの助成金といった支援が効果をもたらしていると考えられています。活動の後押しになっている背景として、活動を通じて得られる結果の分かりやすさも挙げられます（子供に温かいごはんを食べさせてあげたい、地域における居場所の確保の提供など）また、知名度が上がることにより個人や企業からの食品など物資の提供も増え、活動の後押しになっています。また、多くの「子ども食堂」は、参加条件はなく、誰でも参加できる形式となっています。困窮家庭の子どもの支援というわけではなく、地域・まちづくりの一環として、子どもや大人の多世代交流の場として運営されています。

コロナ禍を通して子ども食堂の開催箇所は増加
地域・町作りの一環としての役割をもっている



引用先:むすびえ「<https://musubie.org/news/6022/>」 (2023/09/20)

02 市場調査



地域の中で目指すポジショニングマップ

家でも学校でもない第三の場所をめざしています。

大人はある程度お金を自由に使い、行動範囲も広くお気に入りの場所を見つけやすいと思います。こどもの移動手段といえば徒歩や自転車。学区外は行かないようになど制限もあります。

全国各地でこども達の居場所を作るため、駄菓子屋を立ち上げる動きが見られます。こども達に自分だけでもいける場所を作りたい、お金の使い方が学べる場所を作りたいなど、こどもの事を想う気持ちから駄菓子屋をたちあげているようです。全国的には減少傾向の駄菓子屋ですが、駄菓子屋も地域のコミュニティとしての場として機能していたのです。

駄菓子を買えるような金額で買えるおむすびと自由に過ごす場所を用意したい。

もちろんこどもだけではなく、大人も立ち寄れる場所を目指しています。

こどもにとって駄菓子屋のように立ち寄れるお店

こども+大人+おむすび=おむすびの家コミュニティ

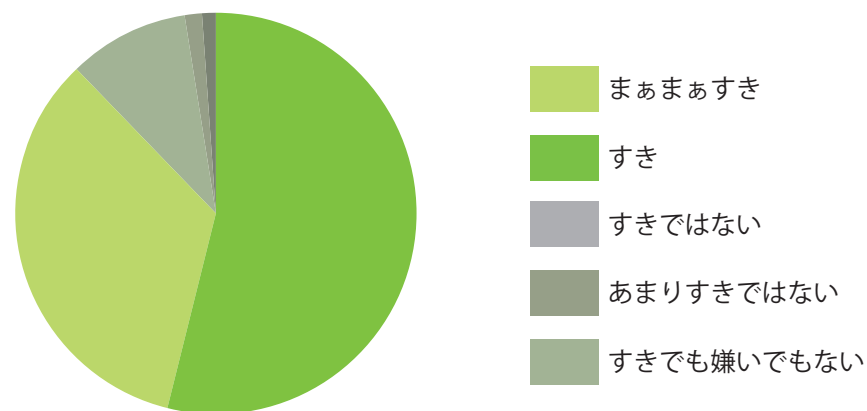
Q あなたはおにぎりが好きですか

子供、大人の垣根なく食べてもらえるものを提供したい、少しでも身体にいいものを食べてもらいたい。地域の中でながく活動したいという想いもあり、負担の多いものは続けていきにくいと考えました。その他の利点として、物価が高騰している中、比較的コメは国内産が多いので価格が安定していて、継続して消費されている。調理の難易度が高くなくオペレーションが楽ということもあります。

すき+まあまあ好き = 88.0%

男性にも開かれたコミュニティになりたい

オペレーションが楽 = 負担少なく続けられる



引用先：ぐるなび「<https://corporate.gnavi.co.jp/release/2023/3r3j4s44sw/>」(2023/09/20)

03 コンセプト

コンセプト

今日はなにをしようかな？

小学生の放課後の過ごし方の1つとしておむすびの家があります。

家でも学校でもない三つ目の場所。

習い事に忙しい子も、

おなかすいた！に寄り添うおみせ。

キーワード

こどもが一人でも行けるお店 健康的 アレルギー対応 地域に根づくお店

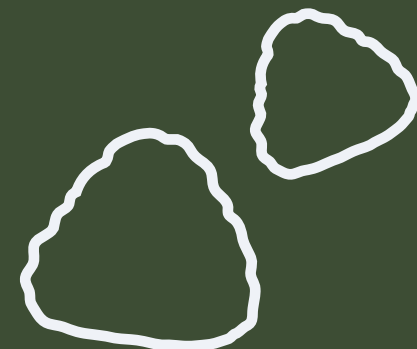
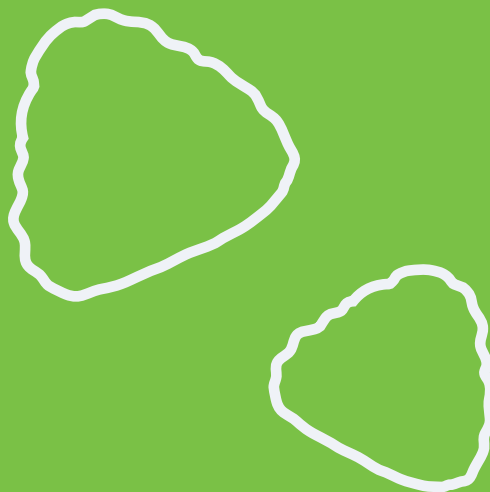
ターゲット

放課後の小中学生

地域の方

塾弁需要

手軽に食事を済ませたい子育て中の世帯

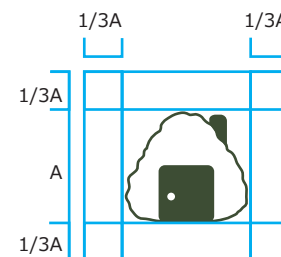
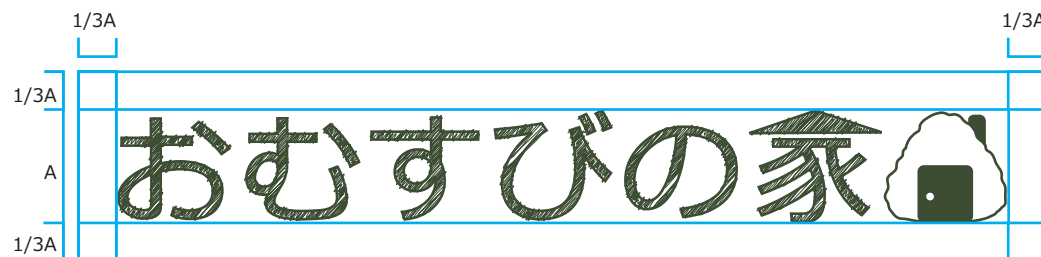


04 ロゴ イメージカラー

ロゴに込めた願い

おむすびをきっかけに人々が集まる地域の交流の場になりたいというおもいを込めて制作しました。
使用フォントは温かみを感じる丸みと読みやすさから メイリオ Regular を選択しました。

アイソレーションエリア



最小サイズ



イメージカラー

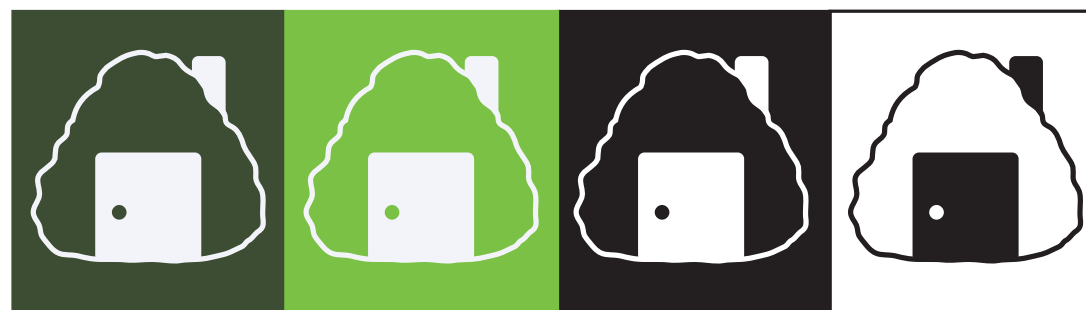
#076046	#7BBD2F	#F7F8FC
C 89	C 56	C 4
M 51	M 0	M 3
Y 82	Y 97	Y 0
K 16	K 0	K 0

安らぎ
健康

希望
調和

スタート
リセット

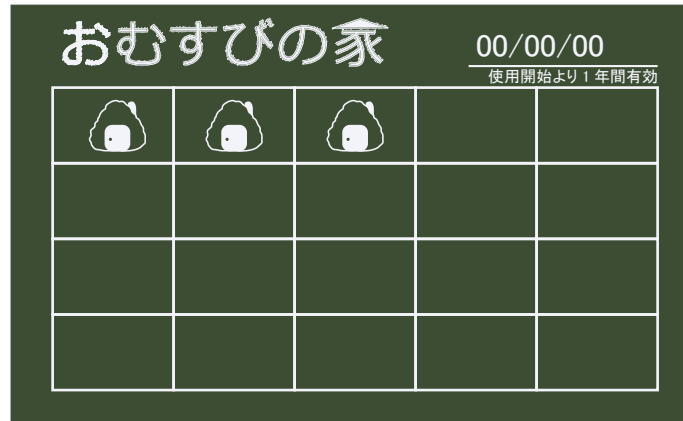
カラー展開例



05 モックアップ



ショップカード おもて



ショップカード うら



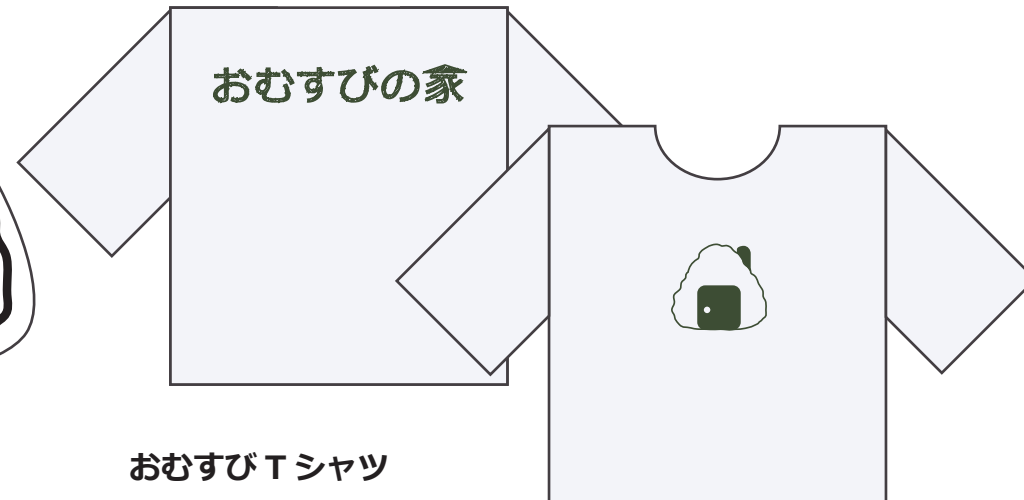
ショップカード うら こども用



名刺



おむすびの具 表示シール



おむすびTシャツ

07 ファーストビュー

ファーストビュー構想

おむすびと子供の写真を全面にだして、文字情報よりもまずイメージが伝わるよう意識しました。



広告バナー 300px×250px



ファーストビューレスポンス

ファーストビュー

